

(公社)新潟県栄養士会会員の皆様

新潟栄養・食生活学会  
学会長 荒川 正昭  
幹事長 入山 八江

## 平成 30 年度新潟栄養・食生活学会 会費納入のお願い

日ごろより、本学会の運営につきましてご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本学会は、会員の資質向上及び県民の栄養改善と健康の増進に寄与することを目的とする学会です。栄養及び食生活に関する一般市民公開講演会、学術発表、学会誌の発行などを行い、学術の進歩と活用を図るべく研鑽を深めています。

本学会の目的にご賛同いただき、ぜひ、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

### 記

- |   |        |   |  |
|---|--------|---|--|
| 1 | 今年度事業  | 総会及び公開講演会   | 平成 30 年 7 月 21 日 (土)                                 |
|   |        | 学術集会  | 平成 30 年 12 月 1 日 (土)                                 |
|   |        | 学会誌発行   | 平成 31 年 2 月頃   |
| 2 | 会員の権利  | 上記の公開講演会、学術集会に無料で参加できます。<br>本学会での発表および学会誌への投稿ができます。 |  |
| 3 | 正会員年会費 | 2,000 円   | 会費は、平成 30 年 6 月末日までにご入金ください。<br>振込み手数料のご負担をお願いいたします。 |

(お問い合わせ先：新潟県栄養士会事務局 TEL 025-224-5966)

# (公社) 新潟県栄養士会長からのメッセージ

## 新潟栄養・食生活学会は、新潟県栄養士会の礎であり誇りです

会員の皆様、日々、さまざまな分野、それぞれの職場で、頑張っておられることと思います。

さて、若い会員の方々はご存じないかもしれませんが、『新潟県栄養・食生活学会』は、平成7年に新潟県栄養士会が保健文化賞を受賞し、その副賞500万円を基金とし、平成9年に、新潟県栄養士会が中心となって、医師、歯科医師、看護師等、多職種で設立された学会です。

私たちの先輩は、栄養士が多職種と共に医学や栄養学の発展に寄与するために、日常業務に終始するのではなく研究的視点で業務に携わり、それらをまとめ発表することが、栄養士の仕事の質と地位の向上をもたらすと考え創設以来20年に渡り存続させてきました。遠く県外に出なくとも身近で発表できる場として、この学会が存在するのです。日頃の業務の中に、見過ごされている重要な事柄がありましたら、是非、事例発表をしていただきたいと思います。

学会は、必要だからといって、すぐに設立できるものではありません。若い人のためにもこの学会を存続させていくことが、現在の私たちの使命ではないでしょうか。

また現在、日本栄養士会の各分野の『認定管理栄養士・認定栄養士』取得申請には、生涯教育研修会受講のほか、学会発表・学会参加が必須要件となっており、その意味でも、この学会は、新潟県栄養士会員にとって貴重な存在と言えます。(詳細はキャリアノート参照)

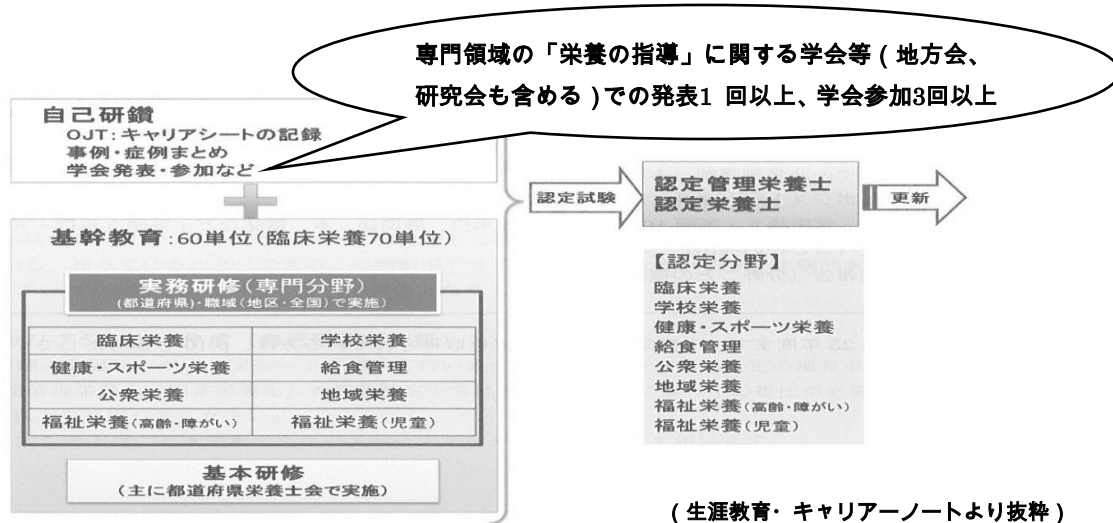


図8 基幹教育と認定分野

崇高な志で設立され、現在の新潟県栄養士会員にとっても大きな意義を持つ学会で、現在、約300名の会員に支えられています。

栄養士会では、今年度11月の生涯教育実務研修に、研究報告や学会発表についての学びの場を設け、会員のスキルアップにも力を入れておりますので、学会への加入を心からお待ちしています。

生涯教育の認定審査申請には学会参加と学会発表が必要です。全ての会員が、新潟栄養・食生活学会員となり自己研鑽を積まれますことを、切に願っています。

(公社) 新潟県栄養士会 会長 入山 八江